

会 議 録		令和 7 年11月26日作成	令和11年 3 月末日廃棄
会議名	京都府下鴨警察署協議会（令和 7 年度第 2 回）		
開催日	令和 7 年 9 月 4 日（木曜日）		
時 間	午後 3 時から午後 4 時30分までの間（90分）		
場 所	左京区役所 3 階中 1 会議室		
出席者	鞍谷会長、三浦副会長、近藤副会長、岩渕委員、竹中委員、松延委員、平塩委員、 彦惣委員、木山委員、森谷委員、井辻委員、村田委員、今富委員 計13人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、 広聴相談係長 計 8 人		
諮 問 事 項	1 若手警察官の育成について 2 左京署再編に伴う交番の統廃合について		
会 議 内 容	1 会長挨拶 司会 副署長 2 署長挨拶 3 協議 司会 会長 (1) 諮問事項説明 若手警察官の育成について～警務課長、地域課長 <b>【委員】</b> 最近の傾向として、今の若者は自分で選んだ仕事であるにもかかわらず、 「こんなはずじゃなかった」と言って、すぐに辞めていく者が多い。警察で もそのようなことがあるのか。 <b>【警察】</b> 警察署に新任配置となった直後に辞める者は比較的少ない傾向にあるが、 警察学校での初任科教養に耐えられずに辞める者が多い。 <b>【委員】</b> 厳しい訓練を経て新任警察官が第一線に出てくることはよく分かったが、 仕事に慣れてきた警察官が不祥事を起こしていることが心配である。中堅ク ラスに対して教養をし直すことはあるのか。 <b>【警察】</b> 年齢を重ねたとしても、各階級の昇任時に近畿管区警察学校もしくは京都 府警察学校に再度入校する。このほか、刑事等の専務員でスペシャリストの 養成を目的とするもの、パトカー、白バイ等の運転技術や通信の技術を向上 させることを目的とした教養等を受けている。警部以上であれば、東京の警 察大学校に入校するほか、署長や副署長になる前にも特別な教養を受けてお り、警察官は退職するまで、段階的に様々な教養を受けている。 <b>【委員】</b> 今は権利主張型の若者が増えており、転職することへのハードルが下がっ		

ている。仕事に対する使命感や誇りを求めず、福利厚生を第一に考えて仕事を選択する時代になった。しかし、我々は警察に市民を守ってほしいと思っている。その使命感や責任感を保つため、どのような工夫をしているのか。

【警察】以前は、全員が“治安を守る”という同じ方向に向くように叩き込まれて育てられたが、令和の時代では、職員の考え方やライフスタイルを理解するなど、今の時代にそぐうよう、一人一人の個性を大事にして育てている。その上で、仕事の時は気持ちがぶれないように、しっかりと気持ちを切り替えて職務執行にあたるよう指導している。

また、警察学校では、何よりも「誇りと使命感」を最も大事にして教育を行っている。「時には市民の盾となって安全安心を守らなければならない。君たちが選んだ仕事は、それだけ崇高で大変な仕事なんだ」ということを徹底して教えている。一定数の人間が辞めていくことも事実であるが、それ乗り越えた若者たちを第一線に送り込んでいる。

【委員】警察が強い気持ちで若手を育てていることは十分に理解できた。一方、そのような中、何が警察の課題になっているのか。我々、協議会委員に聞きたいこととは何なのか。

【警察】少子化の問題や職業選択の考え方の変化により、定員確保が困難になってきていることが大きな問題となっている。公務員であれ、民間企業であれ、懸念しているところは共通問題であると思われるので、警察署協議会の中で情報共有を図り、より良い意見を求めて対応していきたい。

【委員】これからの仕事は、A I を使いこなせるかどうかで業績が大きく変わってくると思い、若手職員にはスキルが上がるので積極的に使うように指導している。警察ではA I など新しい技術に関してはどのように考えているのか。

【警察】警察でも色々なセクションでA I を活用している。A I をはじめとする先端技術を活用し、業務の効率化や情報の分析等の取組を行っている。

【委員】警察の中では、若手警察官が意見を言えるような環境はあるのか。若手の意見を集約してフィードバックしていけば、モチベーションの向上につながるのではないか。

【警察】警察では、提案制度というものがあり、全職員が希望する場合は書面で意見を述べるができる。これら意見は必ず明文化して検討の結果を知らせるようにしており、採用できるものは実現化に向けて動くことを周知している。

## (2) 諮問事項説明

左京警察署再編に伴う交番の統廃合について～地域課長

【警察】現下鴨警察署北白川交番を廃止し、現川端警察署銀閣寺交番に統合する。理由は立地条件や交番への利用者数によるものである。このほか、下鴨警察署と川端警察署の署境にある地域の管轄に関する受け持ちの見直しを行う。

【委員】両警察署の境付近の住民にとっては、警察の対応がスムーズになると思われるので歓迎する。良いことだと思うので、もっとPRしてはどうか。

【警察】警察署の再編に関しては、早い段階から住民説明会を行っている。今後も

<p>会 議 内 容</p>	<p>色々な機会を捉え、引き続き広報を行っていく。</p> <p>(3) その他</p> <p>【警察】第1回警察署協議会で質問があった「バス専用レーンにおける規制表示」については、路線バスの安全かつ円滑な運行、利便性の向上を確保するため、時間帯を限定して専用または優先的に通行できる車線にするための規制である。</p> <p>御指摘の可変式標識については、老朽化等の影響で減少しており、固定式の大型標識等に変更しているところである。当府警察としては、中長期的に交通安全施設の整備、維持管理に努めていく。</p> <p>【警察】特殊詐欺被害防止に向け、固定電話の国際電話利用休止作戦を展開しており、左京区役所には場所を提供していただくなどの御協力をいただいている。</p> <p>今後もこの取組を続けていくので、皆様には、御自身だけでなく、御家族など大事な方々を守るため、この取組を広めていただくようお願いしたい。</p> <p>4 事務連絡</p> <p>令和7年度第3回下鴨警察署協議会は、令和7年12月中に実施予定である。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
--------------------	--

## 第2回京都府下鴨警察署協議会の開催状況

